

## 平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

様々な背景を持った生徒が、社会の有為な人材となるような教育活動を実践する学校をめざす。

- 1 基礎学力をしっかりと身に付け、自信を持って「夢」や「志」を開拓できる生徒を育成する。
- 2 社会を生き抜く規範意識とマナーを持ち、社会に貢献できる多様な人材を育成する。
- 3 教職員が切磋琢磨しお互いに支え合い、生徒や保護者、地域から信頼される学びの場をめざす。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

(1) 新学習指導要領を踏まえ、「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。

ア 基礎学力の充実・定着を図るために、生徒の理解度を検証しながら、生徒の実態に応じた教材の開発・工夫を絶えず行う。また本校独自の「桜学」を活用した授業改善についても研究をすすめる。

イ 授業力向上等検討委員会を核とし、教員相互の公開授業や研究授業及び研修会の実施、また「学校経営推進費」にて導入した I C T を効果的に活用した授業改善に組織的に取り組む。

※生徒向け学校教育自己診断における授業満足度の肯定率 80%をめざす。

## 2 生徒の達成感や自尊感情を育み、夢の実現に向けた支援体制の確立

(1) 社会性と規範意識の確立と自尊感情の醸成

ア 生徒が自らの行動を律することのできる人材となるよう、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。現在の挨拶運動は継続して実施する。

※生徒向け学校教育自己診断の規範意識に関する項目における肯定率 80%をめざす。

(2) キャリア教育の充実と進路保障

ア 進路に対する動機付けが出来るよう、1 年次から計画的にキャリア教育を実施する。また、卒業時の正規雇用・進路希望者率を 3 年間で 20%引き上げる。

※生徒向け学校教育自己診断の進路指導に関する項目における肯定率 80%をめざす。

イ 就職・進学につながる様に担当教科が指導を行い、各種検定の合格者の総計は 13 名を目標とする。

(3) 行事や生徒会活動、部活動を通じて集団の中で調和しながら活動できる能力を育成する。

各種行事の出席率は 60%を目標とする。また、クラブ加入率は 45%を目標とする。

(4) 中途退学者と留年者の減少

ア 保護者や関係機関との連携を強化するとともに、校内の教育相談体制をより一層充実し、支援や指導が必要な生徒に適切な支援・指導を行うことができる体制を確立する。また、生徒情報の共有を確かなものにし、生徒理解を深め、中途退学や留年の防止に努める。

※中途退学者・留年者の率を、前年度の 3%引き下げる。

## 3 開かれた学校運営と地域連携

(1) 全教職員が学校経営に参画しているとの自覚を持ち、組織の向上のために忌憚のない意見交換が出来るよう環境を整える。

(2) 地域連携を進め、地域に理解され、地域から信頼される学校をめざす。

ア 豊中市立各中学校を中心に中学校訪問や中高連絡会を行い連携を進める。

イ 豊中市役所、公民館、豊中警察署、少年サポートセンター、子ども家庭センター、豊中保健所等の外部機関との連携を行い生徒の健全育成に役立てる。

ウ 学校協議会と振興会の活性化を即し、積極的な意見を述べてもらう。

エ H P の充実を図る。

※教職員向け学校教育自己診断の地域連携に関する項目における肯定率 80%をめざす。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成27年1月実施分]	学校協議会からの意見
<p><b>【全体】</b> 生徒、保護者、教職員での殆どの項目において、肯定的な意見が80%を超えており、本校が肯定的に捉えられていることは明確である。学校の根幹である「魅力ある学校」の項目では生徒の肯定は90%、保護者、教員は100%を示しており充実した学園生活を示している。本校への進学理由では生徒は「高校卒業資格取得」64%、「基礎学力」35%、「進学、就職のため」29%と続き、昨年と同様の順位である。対して教員側では「社会性」80%、「基礎学力」67%、「一般教養」67%と続く。項目こそ変化ないが、「社会性」が昨年比27%UPは注目に値する。「社会性」の定義が不明確だが、勉強が苦手でも、周囲に迷惑を掛けない道徳心や倫理観を持った大人を育てたいとの認識であろう。</p> <p><b>【学習指導等】</b> ・本校では、数学など少人数指導を始め、「桜学」や各教科で独自の教材を作成し、丁寧で細やかな授業を展開している。このことは授業見学でも分かる。「授業に工夫」項目では教員の肯定は100%であるが、生徒は83%に留まる。この差を埋めるには生徒自身による学習や理解への努力を期待したい。 ・「授業による学力向上」項目では、教員は93%であり、生徒は81%である。教員の工夫された授業に対して、生徒がしっかりとついていき、学力の向上に結び付いていると考えられる。但し、本当に生徒が理解しているかの再確認は必要であろう。</p> <p><b>【生徒指導等】</b> ・「気軽に相談できる」「話を聞いてくれる」の項目での肯定は、生徒の85%に対し、教員は97%と高い。カウンセリングマインドを持って生徒と対応している教員の様子は日々見ており、生徒と教員とのコミュニケーションは十分に取れている。自ら胸襟を開けない生徒のサインを見逃さないことが必要である。 ・「納得できる生徒指導」の項目は教員の肯定は93%に対し、生徒は85%である。記入項目には喫煙を含め日常の規律へのより厳しい要求が生徒・教員双方に見られる。今後の課題である。</p> <p><b>【進路指導】</b> ・進路指導での肯定は、教員は80%、生徒は85%と高く、生徒にとって本校の進路指導が充実していることがわかる。今後も更に、生徒のニーズを尊重しつつ指導の充実に向けていく必要がある。</p> <p><b>【学校運営】</b> ・「准校長のリーダーシップ」「教職員の学校運営への積極的参加」及び「教職員間の信頼関係」では教員評価は100%と非常に高く、基本的に学校運営が順調に行われていることがわかる。 ・「防犯・防災」の項目は60%と低い。避難の際の車椅子使用の障がい者や高齢者の動線が確保できない点が指摘されている。「本校の外部での理解」が67%であるのは、マスコミへの登場や、生徒を使つての広報の場面が少なくなったことによると思われる。</p>	<p><b>【第1回 7月17日(木)】</b> ○モジュール授業を数学以外に、国語や英語などにも導入してはどうか。 →モジュールの内容や構成、及び教科の再検討、再構築を図りたい。 ○中退率や留年率はどうなっているのか。 →昨年の中退は14名で、率にすると7%。留年は50名で、率にすると25%である。 ○高齢の生徒の様子について知りたい。 →年配者は授業を覚えるのが大変との話をされるが非常に熱心である。年配者の存在は若い生徒にとって相互扶助の精神を生んでいる。体育など別メニューの教科は多い。昨年の「夜桜キャンディーズ」として新聞に載った最年長の方が体調を壊され、登校出来ずにいるのが残念である。 ○全国大会出場しているクラブは、今後も活躍が継続するように頑張ってもらいたい。 →バドミントン、柔道が全国大会に出場予定である。 ○子供が入学して、勉強の基礎の部分から丁寧に教えていただけて助かった。この丁寧さをもっとアピールして広報活動をして欲しい。 →学校説明会や中高連絡会で、基礎からの学び直しの話をしている。進学のように華々しいアピールをする場所や機会がないのが残念である。 ○中学校との連携は大切なので、中学校訪問や中高連絡会を継続して欲しい。 ○資格試験の種類や受験者はどれぐらいいるのか、またそれに向けての指導はどのようになされているのかを知りたい。 →昨年は、情報処理検定7名、漢字検定6名、危険物取扱主任1名が合格。英検なども勧めている。受験時期に合わせて、関係教諭が放課後等に集中講座を開催している。 ○就職状況はどうなっているか。また、外部からのサポートはあるのかどうか。 →昨年は9名が就職内定。昨年までのキャリアコーディネーターは廃止された。 ○学校行事や部活動を見学したい。 →次回に実施しましょう。</p> <p><b>【第2回 10月16日(木)】</b> 上記の希望を受けて文化祭見学を実施。その後協議。 ○中学校の卒業生に会えて、楽しい文化祭であった。 →母校の校長をきちんと覚えており対応できる生徒は、母校に良い印象を与えてくれた。 ○初めて見学したが、生徒が生き生きとしていた。 ○生徒が皆1つのことに協力し合って良い雰囲気であった。見学できて良かった。 →2日目なら、更に4年次が追加で作った大きな蠟燭の「廻りランタン」を見て頂ける。時間が許せばお越しく下さい。 ○模擬店が少なかったが、ゆったりとした時間が流れていった。 →スペースが決められていることと、2日に渡っての開催なので模擬店の出店は総数の半分であるので少なく見えたかもしれない。 ○食堂の中で書道や美術の作品の展示をしていたのは良かった。 →照明が一番明るく、寛いで作品を見られる場所である。 ○食品模擬は値段が安くおいしかった。これからもこんな調子でやって欲しい。 →食中毒が出ないように細心の注意を払っている。学校故に規制が多すぎるのが難点。 ○私達への生徒の対応が大変よく、アットホームで良い感じであった。 →学校協議会の方々に来られることは事前に伝えてあったが、大人の対応をしてくれた。 ○各クラスの宣伝用の看板が大変素晴らしかった。 →夜遅くまで熱心に看板を作っている。どのクラスも甲乙付けがたい。 ○定時制の学校行事の素晴らしさに驚いた。知らない方が多いと思うので、今まで以上に積極的にアピールされたいと思う。 →近郊の住宅には案内文を配布している。岡町の駅にも案内掲示を依頼しておりアピールはしている。 ○卒業生を講師に招いての講演会をしてみてもどうか。 →年輩の卒業生は講師に招いて昨年も講演をしてもらった。若衆はまだ呼ぶにはしんどいと思う。</p> <p><b>【第3回 2月13日(金)】</b> 学校教育自己診断の結果と分析、及び教育活動（教務・生徒指導・進路）などの報告が主であった。学校協議委員からは、全般的に良く頑張ってもらっているとの話が大半を占めた。過去2回に出なかった内容は下の2点。 ○インフルエンザの罹患状況は？ →シーズンで、ほんの数名ほどに留まる。 ○昨今の危険ドラッグ等の薬物に関する取り組みは。 →夏季休暇に入る直前、豊中警察署に依頼し生徒向けに薬物セミナーを実施。1月には学校薬剤師に依頼し、教員向けに現状と予防策の講話をもらった。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善への取り組み</p> <p>ア 授業力向上等検討委員会と各教科の連携による教材の開発・工夫</p> <p>イ 公開授業と授業アンケートを活用した授業改善の推進</p> <p>ウ ICT を活用した研究授業による授業改善の推進</p>	<p>ア・首席を中心とした授業力向上等検討委員会と各教科の連携で、生徒の実態に応じた教材の作成をする。</p> <p>・「桜学検討委員会」にて、本校独自の進路実現に向けた教科横断型の体験的な要素を取り入れた授業モデルを作成する。</p> <p>イ・首席を中心とした授業力向上等検討委員会で企画した公開授業（6月、11月）に合わせ、教員相互の授業見学週間を設定し、積極的な参加を促し他の授業への助言を求める。また授業アンケート（7月、12月）の1回目を課題把握、2回目を成果検証と位置づけ授業改善を推進する。</p> <p>・第2回目の教員相互の授業見学後には、授業改善のために全員参加の研修会を実施する。</p> <p>ウ・全教科でICTを活用した研究授業を実施。授業力向上等検討委員会を中心に、ICT授業での課題把握と成果検証を行い、改善点について全教員で情報共有する。</p>	<p>( )はH25の実績</p> <p>ア・生徒向け学校教育自己診断の授業項目の肯定率80%以上(86%)</p> <p>イ 全教員による1回以上の授業見学の確認。</p> <p>教員向け学校教育自己診断の授業における工夫項目の肯定率80%以上(96%)</p> <p>ウ 生徒向け学校教育自己診断の授業項目(ICT)の肯定率80%以上</p>	<p>ア・各教科では本校独自の教材を開発している。特に少人数展開の数学や、総合の『桜学』では年々の教材ストックが顕著である。これにより生徒の理解度に84%と大きく貢献している。(◎)</p> <p>・校長マネジメントを追加し、学習の動機付けとしてT-NETの授業を増加。生徒の肯定率は67%(◎)</p> <p>イ・公開授業は年に2度実施。2度目は4人の授業者を決めて集中的に授業観察の後、4班に分かれて全員参加で研修会を実施した。活発な意見交換を通じて内容の深化が図れた。教員の授業工夫の肯定率は97%に達した。(◎)</p> <p>・授業アンケートは、管理職の観察票と合わせ教員個人単位で反省材料とさせている。(○)</p> <p>ウ 9月に「学校情報委員会」を立ち上げ、ほぼ全教員がICTの役割を担当し運営している。この機構は1月の「学校情報ネットワーク」での発表に繋がった。生徒の授業項目の肯定率84%(◎)</p>
2 生徒の達成感や自尊感情を育み、夢の実現に向けた支援体制の確立	<p>(1) 社会性と規範意識の確立と自尊感情の醸成</p> <p>(2) キャリア教育の充実と進路保障</p> <p>(3) 行事や生徒会活動、部活動を通じて集団の中で調和しながら活動できる能力を育成する。</p> <p>(4) 中途退学者と留年者の減少</p>	<p>(1)・遅刻しない、欠席の際には事前に担任に連絡する、人の話を静かに聞く、言葉使いに気をつける等、社会性と規範意識の確立をめざす。</p> <p>・現在の登校時の教員との挨拶運動は継続</p> <p>(2)</p> <p>・キャリアコーディネーターの協力の下、計画的に1年次から進路指導部と学年が主体となりキャリア教育を実践する。</p> <p>・外部講師の講演を積極的に実施し、進路に対する的確な動機付けを行う。</p> <p>・各種の資格試験に挑戦し合格することで、生徒に自尊感情や自己肯定感を獲得させ進路指導につなげる。</p> <p>(3)</p> <p>・部活動に参加し、仲間意識を育むことにより、生徒に達成感や自尊感情を感じさせる</p> <p>・生徒会活動に参加し、地域と交流することで、本校への帰属意識や連帯感を高める。</p> <p>・各種学校行事への参加を促し、仲間意識と帰属意識を高める。</p> <p>(4)・全生徒との面談、保護者との対話、家庭訪問、電話連絡などを通じ、一人ひとりに対してきめ細かく生徒と対応する。</p> <p>・昨年度より新設した「生徒情報交換会」を年に2回開催する。</p>	<p>(1) 生徒向け学校教育自己診断の規範意識の項目の肯定率80%以上(84%)</p> <p>(2)</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断の進路指導の項目の肯定率80%以上(88%)</p> <p>・卒業時の正規雇用・進路希望者率を7%引き上げる。</p> <p>・各種の資格試験の合格者数の目標を13名以上(14名)</p> <p>(3)</p> <p>・部活動加入率45%以上(58%)</p> <p>・各種行事への参加率60%以上(60%)</p> <p>(4)・中退・留年率を前年度の3%減少させる。(7.8%)</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断の本校に対する満足度の項目の肯定率80%以上(86%)</p>	<p>(1)・他校からも本校の授業が成立していることへの賞賛の声が多い。本校教員も最近は落ち着いた雰囲気のある学校になっているとの感想を述べている。集会の際にも生徒の姿勢を褒めている。(◎)</p> <p>・「あいさつ運動」の幟を立て、生徒登校時に校門にて挨拶を繰り返しており、また今年度も集会では事ある毎に准校長として『言葉使いの大切さ』について講話している。該当項目は教員では肯定率が100%、生徒は85%である。(◎)</p> <p>(2) CCは配置されず。進路部と学年が主体となりハローワークや職業訓練校と連携し生徒を指導している。キャリア教育は1年次から「桜学」やLHRを中心に実施。現在5名の大学合格。6人が就職内定。生徒の進路指導の項目の肯定率85%(◎)</p> <p>・情報処理能力検定で8名、漢検は12名、危険物取扱1名、英検2名の合格であった。(◎)</p> <p>(3) 部活動加入率は63% 全国大会、近畿大会には陸上部がそれぞれ4名出場(◎)</p> <p>・各種行事への参加率は66%。また、「秋季発表大会」で、『書道』や夜桜で初めての『生活体験発表』での奨励賞を受賞。作品は有効ボードで掲示し、生徒の自尊感情の高揚に寄与している。(◎)</p> <p>(4)・保護者との対応は細かくできている。在籍のみは意思確認を強化し退学は19名(9,7%)(△)。</p> <p>・「生徒支援委員会」を今年度より新たに組織。障がい者の対応を中心に展開を始めた。(◎)</p> <p>生徒の本校に対する満足度は90%(◎)</p>
3 開かれた学校運営と地域連携	<p>(1) 全教職員が学校経営に参画しているとの自覚を持ち、忌憚のない意見交換が出来るよう環境を整える。</p> <p>(2) 地域連携を進め、地域に理解され、地域から信頼される学校をめざす。</p>	<p>(1)</p> <p>・職員会議で自らの考えをはっきりと述べられるように教職員に働きかける。</p> <p>・昨年度創設した「職員連絡会」を有効に使い情報の早期共有をめざす。</p> <p>・各種内規の整理・明文化に努める。</p> <p>・必要に応じて委員会・分掌の再編をする。</p> <p>(2)</p> <p>ア 豊中市立各中学校を中心に中学校訪問や中高連絡会を実施し連携を進める。</p> <p>イ 豊中市役所、豊中警察署、子ども家庭センター等の外部機関との連携を行い生徒の健全育成に役立てる。</p> <p>ウ 学校協議会と振興会の活性化を即し、積極的な意見を述べてもらう。</p> <p>エ HPの充実を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>・教員向け学校教育自己診断の学校運営に関する項目の肯定率80%以上(86%)</p> <p>・生徒指導の内規の整理と明文化に重点を置く。</p> <p>(2)</p> <p>・中学校訪問と中高連絡会を2回実施し本校の実情を知らせる。</p> <p>・教員向け学校教育自己診断の地域連携に関する項目の肯定率80%以上(82%)</p>	<p>(1)・教員への夏休みの宿題として「夜桜への提言」を募り、①「夜桜を語る会」②秋季発表大会の位置付けなど3項目を実践に移した。(◎)</p> <p>・「職員連絡会」は想像以上に機能している。(◎)</p> <p>・校内の内規は全て整理した。(◎)</p> <p>・「情報」「生徒支援」の委員会を新設した。(◎)</p> <p>教員の学校運営に関する肯定率は83%(○)</p> <p>(2) ア 新入生の情報交換を中心とした中学校訪問と在校生の実態や本校の広報を中心とした中学校訪問を実施。中高連絡会は9月に実施し情報交換を深めた。2回目を2月26日に実施予定。(◎)</p> <p>イ 全国大会出場の選手が豊中市長の激励を受けている。講演会などで豊中警察や外部組織と連携を取っている。(○)</p> <p>ウ 学校協議会は学校の実態がわかるようなテーマを決め実施している。振興会も同様である。(◎)</p> <p>エ HPは改良を重ねている。(○)</p> <p>教員の地域連携に関する項目の肯定率67%(△)</p>